

2024年度 福智町キャンプ活動報告書



目次

- 0. 他己紹介
- 1. はじめに
- 2. FIWCについて
- 3. 福智町について
- 4. 福智町キャンプの活動理念
- 5. 福智町キャンプの活動

5-1. 地域活動・ボランティア

- ①上野の草刈り(春)
- ②7月新歓キャンプ
 - (1)草場の廃品回収
 - (2)堀田窯さんのさつまいも畑
 - (3)生力の資源回収
 - (4)あがのレモン畑のお手伝い
- ③あがのレモンナンバリング
- ④上野の草刈り(秋)
- ⑤第3回たがわ教育フェスティバル
- ⑥あがのレモンの収穫
- ⑦草場資源回収
- ⑧古民家「旅籠」DIY、レモン収穫・選別
- ⑨はぐもり

5-2. 学生のやりたいこと実現

- ①学びの会
- ②寺子屋企画「海外について知ろう」
- ③「夏の福智あおぞら教室」
- ④レモン収穫祭までの準備
- ⑤あがのレモン収穫祭
- ⑥「生力で楽しく合唱するぞ！」
- ⑦World Campas in フクチ

5-3.地域の皆さんとの交流

- ①福智山登山
- ②生力の皆さんと
- ③堀田窯さんと
- ④卒業生お礼参り

5-4.チーム内での活動

- ①新歓キャンプ
- ②忘年会
- ③お別れ報告

0. 他己紹介



もえか

もえかさんはいつもニコニコと優しい笑顔で接してくれる、町の人やキャンパーみんなから愛される人です！
福智町キャンパーの中で一番人脈が広く、どんな時も明るくポジティブに町の人と接する姿がとても印象的です。
普段はふわふわとした雰囲気だけど、福智町と福智町キャンプを大事に思って、活動に対して色々なアドバイスやはっきりとした意見をくれる誰よりも優しい人です！
これからも活躍を応援しています！

by ようた

しょうせい

一言でいうと明るくエネルギーに溢れているわんぱく少年です！きっと多くの人がそう感じるんじゃないでしょうか？？

でも、一見元気いっぱいでお調子もののような雰囲気があるしようせいですが、実は自分の興味や将来のなりたい道には慎重で真剣に取り組んでいる一面もあり、知れば知るほど意外と色々考えてんだなあ…と思います。

福智キャンプに関しては、定例ミーティングでも活動でも、真剣なところはしっかり話し合い、雰囲気を明るくするムードメーカーとしても活躍してくれています！持ち前の明るさと人好きな一面を生かして、これからも福智キャンプで頑張ってほしいです！

ただ、熱い話が好きなのはいいですがサウナで話が盛り上がりすぎてなかなかでてこないのはやめてほしいですね^_^笑

by ひなこ





ひなこ

ひなこちゃんは、ふんわりとした優しい雰囲気を持ちながら、しっかりとみんなを引っ張ってくれるリーダーです。そして、かわいらしさもひなこちゃんの魅力のひとつ！話しているといつも和んでしまうような温かさがあります。

さらに、地域の方々と行うボランティア活動では、周りをよく見て行動できる気配り上手な一面も。状況をすぐに把握して、自分ができることを率先して動く姿には、いつも助けられています！

そんなひなこちゃんと一緒に活動できることを、とても嬉しく思っています！

byさやか

あやか

AB型でどこかミステリアスな雰囲気を纏っている綾香さん！

ミーティング中も鋭い意見で他のキャンパー達に新しい気づきを与えるくれる唯一無二のキャンパーです😎

最後のお礼参りで綾香さんがAB型であることを初めて知って、「『独特のオーラ』の正体はそれか！」と勝手に1人で納得した今日この頃です…

byだいち



あい

頼れる冷静乙女。

法学部で勉学に励むため北九州市から九大にやってきました。福智町キャンプの広報担当として若者世代に福智愛を広めています！

by だいふくう

だいち

福智のムードメーカー。

持ち前の親しみやすさで、初対面の人ともすぐに打ち解けてしまいます。

町の人とも自然に会話が弾み、気づけば周りに笑顔の輪が広がっています。◎

周囲の様子にしっかり目を配りながら、自分の役割をさりげなくこなす姿はとても頼もしく、メンバーからの信頼も抜群！なはず！いつも明るくフレッシュな雰囲気で、チームに前向きなエネルギーを届けてくれる存在です。✨

大地が楽しい空気を作ってくれるおかげで、活動を明るく前向きに進めることができます！これからも一緒に福智を盛り上げていきましょー！



by あい



だいふくう

共創学部の仲間であり、どこか不思議とシンパシーを感じる存在。なぜ「だいふくう」と呼ばれているのかは、ぜひ本人に聞いてみてください。いつもニコニコと優しい笑顔を絶やさず、温かなオーラに包まれています。

ミーティングや企画立案の場では、常に冷静で的確な意見を出してくれる頼れる人です。意見交換がとても有意義で、自然とチームの雰囲気も良くなります。

私たちはまだ共に2年生なので、これからもっと福智を盛り上げていけたらと思います！🔥

By しょうせい

ごんちゃん

いつもキラッキラの笑顔のみさきさん！

遠くからみてもごんちゃんさんだなという可愛さ全開の姿にいつもやられてます！

明るく前向きに学びの会を引っ張ってくださり、新米キャンパーには学ぶことが沢山ありました！

by りっか





ももさん

穏やかに話を聞いてくれるももさん。
いつも私たち後輩のことを気にかけてくれていました。
真面目に物事に取り組む姿勢がビシビシ伝わってくる一方で、優しい
笑顔で話を聞いてくれるので、
ギャップにやられちゃいます♡

by りっか



しおさん

いつも明るくて、後輩の自分たちをグイッと引っ張ってくれる人
です🌟
初めて会ったときから気さくに話しかけてくれて、緊張せずに福
智町キャンプに参加できたのをよく覚えてます。よく笑ってくれ
るので場の雰囲気も明るくなって、活動もすごくやりやすかった
です！
明るく元気な尊敬する先輩です💫

by しょうせい



ようた

いつも溢れんばかりの笑顔を照らしてくれる福智キャン
プの太陽ことよーたです🌟
普段は経済学部の腕を活かして、福智キャンプの会計
としてキャンプのお金を管理してくれてます👍
しごできのよーたの今後の活動に乞うご期待！

by だいち

さやか

さやかさんは、落ち着きがあって一緒にいると心が穏やかになるようなお姉さんの存在です！最初はちょっとミステリアスな雰囲気を感じるかもしれないですが実際はとても気さくに話してくださる優しい先輩です！

直接一緒に活動した回数はあまり多くないのですが、いてくださると空気がふっと和むような優しさがあります☺

by ひなこ



りっか

りっかさんは太陽みたいな人です！
その場にいるだけで空気がぱッと明るくなります☀
しっかり者で面倒見が良く、気づいたら自然と
りっかさんについて行きたくなります！
また、みんなが思いつかないようなアイデアを出してくれるから、一緒に過ごしているといつも新しい発見があります🔍
いつもハッピーオーラ全開で、会うと元気をもらえる存在です☺

by あい

1. はじめに

こんにちは！FIWC九州福智町キャンプです。

福智町キャンプは2019年春に発足してから福智町を拠点に6年間活動しています。

今年度は、フレッシュな新キャンパーが増え、

1年生 5人、2年生 1人、3年生 2人、4年生 5人 の計13人での活動でした。

昨年度まで地域の方々と絆を深めてきた先輩方のお力を借りながら、

今年度は新メンバーを中心に町に沢山足を運び、

7つもの企画を開催することができました。

いつも温かく迎え入れてくださる福智町の皆さんに

感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度はキャンパーの枠を越えて、過去最多である30人超えの多くの学生と

一緒に福智町で活動することが出来ました。

幅広く活動をしてきましたので、是非ご一読ください。

FIWC九州福智町キャンプリーダー 末富 りっか

2. FIWCについて

FIWC とは、Friends International Work Camp(フレンズ国際ワークキャンプ)の略称である。ワークキャンプ運動が第一次世界大戦後にピエール・セレゾールによって提唱され、第二次世界大戦後にアメリカフレンズ奉仕団(AFSC)によって日本にもたらされ、活動してきた。それが、1950 年代に日本の組織として FIWC という名で、AFSC から分離・独立した。それ以来、60 年以上国内で活動している。現在 FIWC は、関東、東海、関西、九州の4つの委員会があり、それぞれ活動している。



私たち FIWC 九州は主に福岡の大学生が主体となり、運営・活動を行っている。国外では、中国・フィリピン・ネパール・インドネシアでワークキャンプを行い、国内では、ハンセン病療養所を訪問しこれの啓蒙活動や、大分県中津市の耶馬渓で農業キャンプを行っている。また、福岡県の福智町とも関わりを持ち、ワークショップを開催するなどの活動を行ってきた。

私たち FIWC 九州は学生による非政府組織(NGO)であり、いかなる宗教・政治団体とも一切関係のない学生団体である。

3. 福智町について

福智町は、福岡県の中部から北東よりに位置し、福岡市中心部から車で1時間半ほどの位置にある。人口は約2万3千人、面積は42.04平方キロメートル。標高901メートルの秀麗な福智山がそびえ、その山頂一帯は北九州国定公園に指定されている。

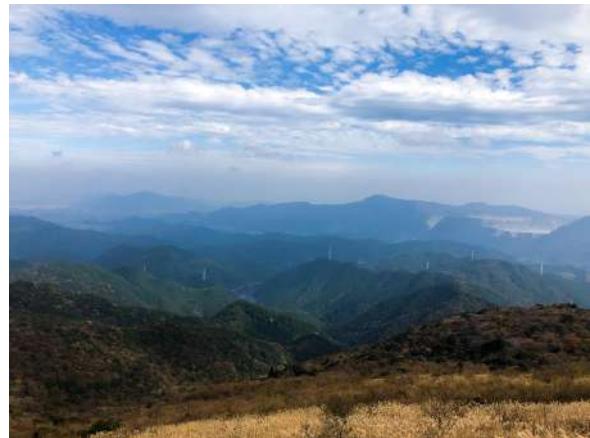
高さ25メートルの滝が小渓谷をなす上野峡の近くには400年以上の伝統を誇る国指定伝統的工芸品「上野焼(あがのやき)」の窯元が点在し、陶芸の里となっている。



明治時代、福智町は石炭の採掘で栄えた。石炭輸送では金田地域が川船や鉄道の要所となり、方城地域では三菱方城炭鉱、赤池地域では明治鉱業赤池鉱業所が稼働し、それぞれの地域で商店街が形成され、炭鉱景気に沸いていた。しかし、昭和40年代後半から、エネルギー革命によりエネルギー源が石炭から石油へと転換し、炭鉱は閉山した。人口の半数以上が町から出て、多くの失業者と鉱害地が残り、旧赤池町・金田町・方城町は財政再建(準用)団体となつたため、財政基盤の建て直しに努めた。

そして、平成18年3月6日に旧赤池町・金田町・方城町が合併して「福智町」が誕生した。

1995年、福智町の年少人口と老人人口は逆転し、2020年には老人人口が8,098人、年少人口は2,737人と圧倒的に老人人口が多くなっている。また、2025年には老人人口も減少し始めると言われている。



4. 福智町キャンプの活動理念



現在、FIWC九州福智キャンプは以下の理念、ビジョン、行動規範を基に活動しています。

理念(価値観)：“出会った人”を大切にする

ビジョン(プロジェクトの全体目標)：“Act in Fukuchi to society.”

行動規範:共感できることをする

これらを踏まえて、今年度はOKRを設定しました。

Objective(目標): “Walk with Fukuchi ~魅力の共鳴~”

KR①: こどもを巻き込んだ教育系のイベント企画 3つ実施

KR②: 全世代型の活動企画 2つ実施

KR③: 発信関連の動き 1つ実施

5. 福智町キャンプの活動

5-1. 地域活動・ボランティア

①上野の草刈り(春)

文責: 末富りっか

日時: 4月21日(日)

開催場所: 上野焼協同組合 付近の道

参加者: 学生8人 + 福智町内外のボランティア

活動内容: 野の窯開きに向け、道に生えている雑草を掃除する。

感想: 陶器祭りに向けて「お客様が気持ちよく来られるように」という想いをこめて清掃をしました。町の方や田川の様々なところからいらっしゃったボランティアの方々とお話をしながら、自分たちにできることは何かを再考する機会になりました。お昼はイノシシカレーをいただき、午後からはあがのレモンのお手伝いを行いました。

雨の中の作業でしたが、みんなやる気に満ち溢れていてとても有意義な時間となりました。



②7月新歓キャンプ

文責:末富りっか

日時:7.6(土)~ 7.7(日)

参加者:FI学生17名

(1)草場の廃品回収

開催場所:草場の公民館

活動内容:草場地区で町の方々のお家を1件1件回り、廃品や家財、木材などを回収

感想:草場の方々のお家を軽トラックで周り、お話をしながら廃品を回収しました。また、回収をした電化製品を分解するなど、面白い経験をさせていただきました。田んぼの景色に見惚れながら草場を周り、草場の方々と沢山お話できて楽しい時間となりました。



(2)堀田窯さんのさつまいも畑お手伝い

開催場所:堀田窯さんのさつまいも畑

活動内容:さつまいも畑の柵を作りネットを張る

感想:地域の方々と一緒に暑い中、さつまいも畑の柵を立てネットを張りました。堀田窯さんの「地域のみんなで作るさつまいも畑」の想いを聞きながら楽しく活動する事が出来ました。今後も大きく育つようお手伝いをしていきます。



(3)生力の資源回収

開催場所:生力集会所

活動内容:生力の方々の資源の分別・回収の手伝い

感想:暑い中朝から精力的に活動される生力の方々に元気をもらいながら、資源の分別や運搬など力仕事を頑張りました。ほとんどが初めて生力を訪れるメンバーでしたが、地域の皆さんにお話をしてくださいり、楽しく活動することが出来ました。



(4)あがのレモン畠お手伝い

開催場所:上野のレモン畠

活動内容:ナンバリング・草刈りのお手伝い

感想:オーナーの平野さんに重機等の扱い方を教わりながら、草刈り・水やり・レモンのナンバリングを行いました。猛暑日だったため、たくさん汗を流しながらの活動でしたが、貴重な経験ばかりで、レモンがどのように育つのか想像しながら自然との向き合い方を学ぶことが出来ました。



③あがのレモンナンバリング

文責:宮寄陽太

日時:7月13日(土)

開催場所:あがのレモン畠

参加者:大学生3人、株式会社スカイワードの社員・家族の方々、
レモン畠の方々

活動内容:レモンのナンバリング、肥料まき

活動詳細:レモンの木に番号を付け、それぞれの木に実が何個
ついているかを数えて記録する。

感想:ふるさと納税支援などを行う企業の方々との活動で、2時間
程度の作業ではあったが会話を楽しみながらレモンづくりのお手
伝いをすることができました。また、私は初めての福智での活動
であり、町の人との関わりを作ることができてとても嬉しく、今後も
いろいろな形で町の人やレモン畠と関わっていきたいと思いました。



④上野の草刈り(秋)

文責:宮寄陽太

日時:10月20日(日)

開催場所:上野焼協同組合付近の道

参加者:FIWCから6人、福智町内のボランティアの方々

活動内容:上野焼秋の窯開きに向けて沿道の草刈り

感想:町の方々と雑談をしながら、上野の豊かな自然と澄んだ空気を感じて楽しく作業を行うことができました。多くの人が訪れる窯開きに向けて、自分たちが作業した沿道がどんどんきれいになっていく様子が気持ちよかったです。お昼には猪力レーをいただき、さらに上野焼のお皿やマグカップもいただくことができてとても嬉しかったです。



⑤第3回たがわ教育フェス

文責:川渕将聖

日時:9月28日(土)~9月29日(日)

開催場所:いいかねPalette

参加者:FIWC九州から5名。田川市からの外部の方も多数参加。

活動内容:地域の方々との交流ワークショップ

- ・廃校を活用した施設見学・地域資源の学び
- ・地域課題に関するディスカッションと提案会
- ・夜の懇親会を通じた多世代交流

活動の詳細:

今回の活動では、地域の課題を知り、外部からの視点でその解決策を一緒に考えることを目的として実施された。廃校をリノベーションした「いいかねPalette」の活用事例から学び、地域住民との対話を通じて現場の声に耳を傾ける機会となった。また、教育について深く考えられる場が設けられ、多様な意見に触れることができた。

感想:

地域の方々の温かさに触れながら、地域に根差した取り組みの大切さを実感しました。都市部では得られない、人と人とのつながりや、課題に対する現場感覚を体験でき、非常に学びの多い2日間となりました。特に、地域における教育のあり方について考える機会があったことは印象的で、子どもたちを取り巻く環境や、地域全体で子どもを育てていく姿勢に深く心を動かされました。



⑥あがのレモンの収穫

文責:宮寄陽太

日時:12月7日(土)

開催場所:あがのレモン畠

参加者:FIWCから5人、レモン畠の方々

活動内容:レモンの収穫・箱詰め、ドライレモンづくり

感想:今回はレモン畠のオーナーの方に届けるためのレモンの収穫で、学生同士やレモン畠の方々と雑談をしながらのどかな雰囲気で作業を行うことができました。なるべく一つの木から取り残しがないようにとつづいていくのですが、高いところにある実を高枝切りばさみでとるのが想像以上に難しく大変でした。また、お昼ご飯を頂いた後、午後にはドライレモン作りのお手伝いをし、一つ一つ手作業で丁寧に作つていくのが大変でしたが、とても楽しかったです。



⑦草場の資源回収

文責:塩谷菜々子

日時:12月7日(土)

開催場所:草場の公民館

参加者:FIWCから1人、草場の方々

活動内容:資源回収・配達

感想:7月から引き続き、資源回収にお声がけいただきました。八隅さんと一緒に資源回収・配達をしました。草場の方々たちとも久々にお話できて楽しかったです。

⑧古民家「旅籠」DIY、レモン収穫・選別

文責:末富りっか

日時:2月8日(土)、9日(日)

開催場所:市場の古民家「旅籠」、上野のレモン畠

参加者:FIWCから9人、ジャンボさん、あずみさん、レモン畠の方々

活動内容:古民家の壁の改修、レモンの収穫・選別

感想:雪の降る中、1日目は古民家改修、二日目はレモン畠のお手伝いという充実した二日間を過ごすことができました。古民家改修前には構想をお話いただき、その後に壁のシーラー塗り・天井はがし・古本の片付けなど普段では経験できない貴重な経験をさせていただきました。1年前の改修からかなり姿が変わり、今後にワクワクしながら活動することができました。

レモンの収穫ではまだ収穫しきれていないレモンを黙々と収穫した後、基準をもとに話ながら選別を行いました。レモン畠に初めて来たメンバーもオーナーの平野さんとお話しながら楽しく活動をすることができました。



⑨はぐもり

文責:末富りっか

第1回:10月20日(土)、FIWCから6名、はぐもり運営の方々

第2回:11月30日、FIWCから5名、はぐもり運営の方々、社会人の方々

第4回:1月26日、FIWCから5名、はぐもり運営の方々、社会人の方々

第5回:2月24日、FIWCから3名、はぐもり運営の方々、社会人の方々、小学生

開催場所:方城の竹林

活動内容:竹林整備・構想

感想:OGであるあいりさんにお声がけいただきて、人と森を育む「はぐもり」プロジェクトにも定期的に参加させていただきました。自然と向き合いながら、様々なバックグラウンドを持つ方々とお話を毎回充実した時間を過ごさせていただいています。竹を運んで道を作ったり、空間が生まれていくことに感動しながら、自然に癒され今後に夢をふくらませています。今後も学生ならではのアイディアや体力で少しでも力になれば嬉しいです。



5-2. 学生のやりたいこと実現

①学びの会

文責: 中森日菜子

日時: 8月8日

開催場所: 赤池公民館

活動内容: ワークショップ「大学ってどんなところ?」

活動の詳細: 高校生を対象に大学について知ってもらう企画を行いました! 大学の魅力や学部についてなど、大学の基本情報を説明した後、実際の大学のシラバスを使って履修を組む体験をしてもらいました。

どんな分野に興味がある? 授業以外に力を入れたいことはある? など高校生と会話をしながら時間割を組み、理想のキャンパスライフを想像してもらいました! 実際に大学に通っている私たちだからこそできる話をして高校生たちと交流を深めることもできました!



②寺子屋企画「海外について知ろう」

文責: 中森日菜子

日時: 8月16日

開催場所: 生力公民館

活動内容: 子ども達の宿題のお手伝い・F1企画「海外について知ろう」の実施

活動の詳細:午前中は公民館に集まった子ども達の宿題を一緒にしました！算数の基礎など、簡単なはずなのに説明するのが難しいものもたくさんあり、教えることの難しさを感じました…！また、時間をとってもらい、FIのオリジナル企画「海外について知ろう」を実施しました。世界の色々な国についての話をした後、みんなでくり抜いた世界地図を完成させていきました。大学生と子どもたちが話をして仲良くなりつつ、新しい知識もつけられる内容になっていたと思います。お昼ご飯にはみんなでそうめんを食べたり、かき氷器で削ったふわふわのかき氷を楽しんだりして、夏を満喫した一日になりました！



③夏の福智あおぞら教室

文責:宮寄陽太

日時: 8月23日(金)

開催場所: 7世代キャンプ

参加者: FIWCから13人、小学生4人とご家族、ジャンボさん、あづみさん

活動内容: イベント企画、前日準備と当日の運営、子供のサポート

活動詳細:自由研究「割れないシャボン玉を作ろう」
流しそうめん、スイカ割り、ピニャータ(メキシコの遊び)

感想:前日準備ではジャンボさんの手助けを受けながら竹の切り出し、流しそうめんのセット作りとピニャータや自由研究の道具準備を行い、のこぎりやなたを使った貴重な作業を終始明るいムードで楽しく進めることができました。また、草場公民館に宿泊させていただき、夜にはあずみさんとジャンボさんから目標設定などのお話を伺い、当日に向けて明確な目標とモチベーションをもって望むことができました。

当日は炎天の下、シャボン玉の自由研究や流しそうめん、スイカ割りなど様々なアクティビティを行いました。子供のサポートをしたり一緒に遊んだりして、子供たちの夏の思い出を作りながら自分たちもたくさんのエネルギーを受け取ることができました。個人的には初めての泊まりでの活動、子供とのイベントだったこともあり、自分にとっても忘れられない思い出となりました。



④レモン収穫祭までの準備

文責:三浦彰仁

日時:9月~11月下旬

開催場所:あがのレモン畠、獣師小屋、メンバーの家(個人活動)、ジャンボさん宅など

参加者:学生4人(ひなこ・ふわり・だいふくう・ようた) +ジャンボさん、あずみさん

活動内容:企画を考え計画を立てて自分たちで管理・実行し、新たなあがのレモンフェスティバルの企画構想を具現化するまでの一連の流れの企画運営活動。

活動詳細:

9月2日 第一回ZoomMTG (レモン収穫祭・企画の説明・企画案を考えてくる宿題)

9月14日 レモン畠初視察＆コンテンツ決定MTG＆レモン肥料撒き (ようた・だいふくう)

→ここから当日までガントチャートを用いた企画のタイムマネジメント開始

9月 25日 第二回ZoomMTG (コンテンツ内容確定・ガントチャート確認)

10月11日 第三回ZoomMTG (各企画の準備・実験進度チェック)

10月20日 午前草刈り 午後収穫祭

11月9, 10日 事前リハ合宿＆めんたいワイド撮影

11月24日 レモン収穫祭本番

上記の日程以外にも常時6人LINEで連絡を取り合っていました。

感想:企画案をゼロから作る経験！これがとても刺激的でした！初日のZOOMミーティングで企画メンバーが1人3つ案を出し、ジャンボ夫妻と他の企画メンバーからの批評を受けてブラッシュアップしていく流れがとても成長を感じさせました。当日までに数回に分けてレモン畠・狩猟小屋に行き企画の打ち合わせ・使うガーランドや道具の制作をしていました。準備の段階や畠付近の路上草刈りで町の人たちとお話しできることで、人として話す温かさを感じました。



⑤あがのレモン収穫祭

文責:中森日菜子

日時:11月24日

開催場所:あがのレモン畠

活動内容:レモン収穫祭

活動の詳細:イノシシの被害が多い耕作放棄地を再生させて、町の活性化につなげようという思いでレモン畠を始めた平野さん。その思いに賛同した多くの人の協力があり、今年で3回目となる「レモン収穫祭2024」が開催されました。今年、FIWC九州のメンバーを中心とした4人の学生が企画コンテンツチームとしてイベントの準備に関わったほか、当日ボランティアとして約20人の学生がイベントを盛り上げました! FIの学生は飲食ブースや受付の対応、学生企画ブースの運営を担当しましたが、1人1人の学生がイベントに来てくれた人と目線を合わせて話している姿を見てとても頼もしく感じました。当日は予想を大きく超える人数の来場があり、大変ではありましたが、とても思い出に残る一日となったと思います。



⑥生力で楽しく合唱するぞ！

文責:末富りっか

日時・参加者:1月26日、FIWC3名、子ども5名、生力の方々
2月2日、FIWC4名、子ども5名、生力の方々

開催場所:生力集会所

活動内容:生力の子どもと合唱練習・発表

感想:「①皆で歌うことの楽しさ、合唱曲の魅力を子ども達に知って欲しい。②練習を通して子ども達同士が仲良くなつて欲しい。」という目的から生まれた合唱企画。第一回では発声練習から練習まで行い、みんなで楽しく歌うことができました。そして、第二回では練習後、生力の方々に集まつてもらい発表会を行いました。曲の想像をしてみんなでありがとうの花の絵を書いて伝えたい人に渡す等、温かい会になつて良かったです。観に来てくださつた方も10名ほどいらっしゃつて、子ども達は緊張していましたが楽しく発表会もできました。



⑦World Campas in フクチ

文責:加藤逢

日程:2025年3月9日

主催:FIWC九州・福智町

開催場所:金田分館

参加者:福智町キャンパー、FIWC九州メンバー、中高生(地域外も含む)計19名

内容:「ワールドキャンパス in フクチ」と題し、福智町において大学生と地域の中高生が交流を深める国際理解推進イベントを行いました。参加者は、FIWC九州に所属する学生10名と、中高生9名。日本航空(JAL)からは2名が参加し、航空業界の国際的な仕事についての講話や異文化交流講座が行われました。英語を用いた機内アナウンス体験やグループディスカッション、JALの方々とのQ&Aセッションを通じて、異文化理解やグローバルマインドを育む機会となりました。さらに、FIWC九州の学生による海外での体験談の発表や、フィリピンで実施されたワークキャンプ

の活動内容の紹介も行われました。フィリピンワークキャンプの紹介では、現地の人々と協力して取り組んだインフラ支援の様子が写真やエピソードを交えて語られ、中高生たちに海外の生活文化や価値観の違いについて学んでもらうことができました。また、後半は中高生が自分の将来を考えマインドマップを班で作成して発表しました。自らの可能性について考えるきっかけとなり、将来の進路や生き方への意識を深める時間となっていました嬉しいです。

感想：地方にいながらも海外の文化や価値観に触れられる機会は貴重であり、今回のような活動がその架け橋になれる強く感じました。地元の中高生にとって、「世界は遠いものではない」と実感してもらえたと思います。今後もこのような交流の機会を大切にし、子どもたちがより広い世界を知り、自らの将来に多様な可能性を見いだせるような活動を継続していきたいです。



5-3. 地域の皆さんとの交流

①福智山登山

文責：末富りっか

日程：5月11日、12日

開催場所：福智山、古民家旅籠

参加者:福智町キャンパー、草場のハ隅さん・ジャンボさん・あずみさん

内容:福智山登山、MTG

感想:初の福智山登山に挑戦しました!!想像よりも最初の一歩目の傾斜が急でびっくりしました。少しずつ休憩しつつ、みんなで声を掛け合いながら鷹取山・福智山に無事登頂することが出来ました。なんとか登り切った後、頂上からの福智を見渡せる絶景に感動しました。

二日目は古民家旅籠でジャンボさん夫婦のお力を借り、福智町キャンプについて考えるワークショップを行いました。今年度初めての福智での活動でしたが、福智のこと・福智町キャンプのことをたくさん考え、とても充実した二日間になりました。



②生力の皆さんと

文責:加藤逢

開催場所:生力集会所

参加者:FIWCより2名

活動内容:①健康体操・クリスマスツリー飾り付けとbingoゲーム

②餅つき

感想:

①健康体操が楽しかったです。子ども達もウォークラリーイベント、寺子屋で顔見知りになってきて、話しかけたら前よりもすんなり話してくれるようになったのがとても嬉しかったです。
②福智町キャンプから2名で生力の餅つきに参加しました。少人数での参加だったため、地域の方としっかりお話しできるか、仲良くなれるか最初は不安もありました。
しかし、いざ会場に足を運ぶと、生力の皆さんがとても温かく迎えてくださり、その不安はすぐに消えました。地域の方々と一緒に杵を振り下ろし、餅をつく瞬間はとても活気があり、会場全体が笑顔に包まれていました。◎
また、この日のために生力の方が竹を切り出して作った“かっぽ酒”をいただく場面もあり、地域の手作りの心を感じながら楽しい時間を共有することができました。
今回の餅つきは、地域の方と初めてじっくりお話しする貴重な機会となり、つながりを深められた一日になりました！



③堀田窯さんと

文責:末富りっか

日程:12月1日

開催場所:堀田窯

参加者:FIWCより7名、堀田窯さん

活動内容:上野焼作陶体験

感想:参加者のほとんどが初めての作陶体験でした。福智に来る度に見かける上野焼を、自分たちの想いを込めて作りました。堀田窯のめぐみさんにアドバイスをたくさん頂きながら、メンバーそれぞれの個性が出る作品が無事完成しました。上野焼の歴史など知らなかったことも沢山知ることが出来て学びになりました。今後の活動についても会話に花をさかせながらとても楽しく作ることができました。



④卒業生お礼参り

文責:末富りっか

日程:3月11日、12日

参加者:FIWCより10名

活動内容:生力、上野、草場、役場のお世話になった方々へのご挨拶

感想:卒業をする4年生の3人を中心に、福智町でお世話になった方々へご挨拶へ伺いました。午前中に生力の方々のご自宅や堀田窯さん等に伺い、夜には、草場の八隅さん、ジャンボさん、あずみさんも先輩方最後の福智町キャンプの活動に駆けつけてくださいり、鍋を囲み思い出話に花を咲かせました。今年の卒業生は1、2年生の時から長い間活動したメンバーばかりで、町の人から「寂しくなるね」「お疲れ様」と温かいお言葉をいただいていました。現役キャンパーたちも先輩方が築いてきた絆を再確認し、自分たちもより一層活動を頑張ろうと気持ちを新たにすることが出来ました。先輩方お疲れ様でした！



5-4. チーム内の活動

①新歓キャンプ

文責: 西山大地

日程: 7.6(土) ~ 7.7(日)

開催場所: 草場地区公民館、草場集会所・神社、堀田窯さん(さつまいも畑)、レモン畑、7世代キャンプ、生力ニュータウン

参加者: FI学生17名

感想: 福智での活動は初めてだったのですが、福智町での様々な活動に参加させていただいたことだけで大満足な活動となりました。自分の中で、今回の新歓は「福智」の自然という側面が強いです。また、7世代キャンプでのBBQでのジャンボさん夫妻や平野さんとの対話やキャンパー同士の対話がとても充実していて楽しかったです。



②忘年会

文責:末富りっか

日程:12月20日

開催場所:西新

参加者:FI学生15名

感想:今年度は新たにキャンプに参加する人が多かった福智町キャンプ。30人以上の学生が福智町に足を運びました。最近は福智町に来れない学生もふくめて忘年会を行い、福智町キャンプの仲間の仲を深めることができました。

③お別れ報告

文責:末富りっか

日程:2月12日

開催場所:オンライン

参加者:福智町キャンパー

活動内容:卒業する先輩方のプレゼン

感想:卒業する先輩方が今までの活動を振り返り、私たち現役キャンパーにプレゼンテーションをしてくださいました。福智町キャンプでどのような活動をしてきて、どのようなことを考えていたか等を一人一人発表してくださいました。今後の私たちの活動をより良くするために最後まで「伝え続け」てくださった姿勢にとても感謝しています。

2022年度（リーダー引き継いだ年）	引き続き、町の人との交流を大事に
<p>メンバー：院の先輩3名、学部生9名 引き継いだ活動：農園、ふくの塾、買い物代行</p> <p>まずは、先輩方の活動を続けることを頑張ろう！！</p>  <p>2022.12.20</p>	<p>他のボランティア、福智の人との交流もいろいろ</p>  